

「推進員活動に関するアンケート」集計結果（令和 7 年度委嘱）

令和 8 年 4 月実施

アンケート対象

令和 7 年度に八千代市廃棄物減量等推進員として委嘱され、活動した方 83 名

アンケート送付数	83人
アンケート回答者数	56人
紙	42人
ちば電子申請サービス	14人
回答率	67.5%

問 1. これまで廃棄物減量等推進員を何回お引き受けいただいていますか。

回答数	55
未回答数	1
回答率	98.2%

	回答数	割合
1 初めて	30	54.5%
2 2回	11	20.0%
3 3回	4	7.3%
4 4回	1	1.8%
5 5回	4	7.3%
6 6回以上	5	9.1%
計	55	100.0%

問 2. 担当する地域の集積場所では、ごみの出し方のルールはどの程度守られていますか。

回答数	56
未回答数	0
回答率	100.0%

	回答数	割合
1 きちんと守られている	17	30.4%
2 だいたい守られている	36	64.3%
3 あまり守られていない	3	5.4%
4 ほとんど守られていない	0	0.0%
計	56	100.0%

問3. 問2で2～4を選択した方にお伺いします。集積場所で守られていないことは、特に
 どんなことですか。（2つまで回答可）

回答対象者数	39
回答数	37
未回答数	2
回答率	94.9%

	延べ回答数	割合
1 ごみの分別の不徹底	18	32.1%
2 ごみを出す日や時間が守られていない	19	33.9%
3 指定ごみ袋の未使用	7	12.5%
4 事業所（会社）のごみが出される	3	5.4%
5 その他	9	16.1%
計	56	100.0%

5 その他の記述

- ・ゴミネットをしっかりと被せてない為、鳥等に荒らされてる集積所が有る。
- ・粗大ゴミが出されたことがあった。
- ・粗大ゴミの不法投棄（引越とかよそからの投棄）。団地の為、清掃 J S クリーンメイトさん毎年一括して処分している。
- ・祝日のごみの日の収集有無について
- ・地域外のごみが時々あります。
- ・粗大ゴミの勝手な廃棄
- ・他市からのゴミ。不特定（通行人？）の人による指定ゴミ袋以外のゴミ捨て。外国人（自治会未加入）による混ぜゴミ。
- ・自治会内にゴミ収集車が入れない場所があり、入れる場所に集中している。そこに、自治会に入らない家が多数あり、清掃が行き届かない。
- ・例えば、ドリンクビンのキャップ(アルミニウム)がそのままビンといっしょに出されているとか

問4. ごみ行政において、特に重要だと思うものはどれですか。（3つまで回答可）

回答数	55
未回答数	1
回答率	98.2%

	延べ回答数	割合
1 ごみの減量化や資源化の推進	31	22.6%
2 ごみ収集体制の整備	13	9.5%
3 ごみ処理の効率化や安全性	8	5.8%
4 不法投棄の防止及び対策	31	22.6%
5 周辺自治体とのごみ処理による施設の広域化	4	2.9%
6 事業系ごみの減量化	1	0.7%
7 市民・事業者向けの広報・啓発活動	20	14.6%
8 環境教育の推進	8	5.8%
9 ごみ行政に関する情報公開	10	7.3%
10 プラスチックのリサイクル	8	5.8%
11 その他	3	2.2%
計	137	100.0%

11 その他の記述

- ・ごみの資源化。「1」にありました。減量化=資源化ではないと思います。
- ・マンション等の敷地内の落葉などのゴミ収集問題
- ・外国人による市のゴミ出しへのルール徹底。特定できれば訪問して啓発してもいいのでは。

問5. ごみや資源物の分別区分についてどう思いますか。

回答数	55
未回答数	1
回答率	98.2%

	回答数	割合
1 分かりやすい	21	38.2%
2 普通	30	54.5%
3 分かりにくい	4	7.3%
計	55	100.0%

問6. 問5で3を選択した方にお伺いします。どうしたらわかりやすくなると思いますか。

(自由記述)

回答対象者数	4
回答数	5
有効回答数	4
未回答	0
回答率	100.0%

- ・ 毎月の公報に何面のどのあたりと決めて「これは資源的」と1年間マンガイラストで1品ずつ出す。
- ・ 資源物等の仕分けをもっとわかりやすく図等を用いて作成し、各ゴミ収集所に表示する。
- ・ クリーン推進課による巡回、指導。粗大ゴミの収集方法の告知及び増えて来たヤードへの立ち入り調査。
- ・ HPに動画で掲載してほしい。特に古紙回収が分からなかった。4つの分類しているが、ダンボール以外があいまい。どれが回収できて、できないか不明。

問7. ごみの減量化及び適正処理のため、担当する地域の自治会等の団体に工夫していることがありましたら教えてください。(自由記述)

例：資源物の集団回収を行っている。集積場所の状況把握や指導を行っている。

回答数	32
未回答数	24
回答率	57.1%

- ・ ①各ゴミ集積所の巡視。②段ボール等資源物の回収の徹底。
- ・ ゴミステーション(カゴ型)の設置を進めている。
- ・ ネット、ちりとり、ほうき、マナー看板等の提供
- ・ 正しくゴミ出しが出来てるかの見回り。
- ・ 無し
- ・ 総会などでごみの減量化など協議する。
- ・ 資源物の集団回収を行っています。
- ・ 収集のない祝日や年末年始等の収集のない期間のゴミステーションへの注意貼り紙など
- ・ 減量化ではないが集積場の衛生水準の維持・管理を強化する目的でネット(網)をやめボックス型に切り替えています。清潔な集積場の維持は地域全体の良好な住環境と共同意識の向上につながると思う。
- ・ 集積場所の状況把握
- ・ ごみの種類によっては、プラスチック製かガラス等かわからないものがある。集積場所を時々点検して、必要な指導を行っている。
- ・ JSクリーンメイトさんからの要望等で住民への注意喚起(掲示物)をしている。
- ・ 自治会独自の掲示物を作成してゴミステーションの運営管理をした。会員の苦情や情報により、その場所に応じた掲示をしました。
- ・ 特に無し

- ・ ①ゴミ出しルールに見える化②集積所に掲示
 - ・ 月に1回定期的に資源物の集団回収を行っている。
 - ・ 特に無い
 - ・ 集積場所の清掃をきちんとする様指導している。
 - ・ 特にありません
 - ・ ゴミカレンダーの独自作成。八千代市のカレンダーは文字が小さくて、高齢者には読めない。
 - ・ 特にありません
 - ・ 分別の方法を間違っている場合等は、写真を撮って何が間違っているかを集積場所に掲示して啓発している。
 - ・ 資源物の分別、収集の整備、清掃作業、全般をJSに依頼している現在は問題ないと思われる。
 - ・ 祝日でゴミ回収が無い日の前日に、自治会のLINEオープンチャットでその旨をお知らせしたり、集積所に張り紙をしたりして注意喚起している。
 - ・ 特になし。
 - ・ なし
 - ・ ①カラスにあらされないよう、ネットさく購入。②町内で掃除当番を作っている。
 - ・ 自治会がある日にリチウムイオン電池の回収開始日の周知及び自治会HPへのアップを行った。
 - ・ 資源物の集団回収を行っている。月初めに自治会内回覧で回収日を知らせ徹底している。
 - ・ 資源物の集団回収を行っています。
 - ・ 資源物の集団回収日を町内会報や掲示板で周知するほか市から補助金が出ていることを総会資料に掲載している。
 - ・ 自治会運営委員会で（毎月第3日曜日に）クリーン長として清掃を行っての事を報告しています。
- ①参加人数②清掃現場での体験等を行っています。参加者は15人～16人です。

問8. ごみの減量に対する市民の意識の向上には、どのようなことが必要だと思いますか。

（自由記述）

例：リサイクルの仕組みについて、啓発が必要。自治会内で情報共有をする。

回答数	34
未回答数	22
回答率	60.7%

- ・ 現状のゴミの処理にかかる税金、各世帯の負担割合。減らした場合の負担割合シュミレーション。
- ・ 資源用ゴミの周知・ゴミ減量・分別等啓発用掲示(貼紙等)徹底。
- ・ 町会内での情報の提供と啓発活動。
- ・ 標語看板等の設置(例：捨てればゴミ、生かせば資源)で常に意識できるしくみ。
- ・ 啓発活動。
- ・ リサイクルできる物は、八千代親子まつりなどで出品して再利用する。
- ・ 紙などのリサイクル活用可能な物についての広報が必要。

- ・何故減量が必要かの理解を深める。ごみを沢山出す=家の中がキレイになる。
- ・ごみの減量化の重要性を幅広く告知頂きたいと考えます。
- ・ゴミ減量は行政の取り組みだけでなく市民の理解と協力によって成り立つものです。まず関心をもってもらふ事。減量の意義や効果を身近な視点で伝えるとこが出来ればいいですね。
- ・他道な啓発活動しかないと思います。必要なことは回覧板等で周知しています。今後も。
- ・リサイクルの仕組み、重要性、市から情報等啓発が必要。
- ・リサイクルの情報共有
- ・リサイクル結果の報告
- ・その時点により必要な情報を開示、提供すること、リチウムイオン電池の回収開始のような情報をよりわかりやすい分別の方法を図解していただけると嬉しいです。
- ・学習会の継続
- ・特に無し
- ・意識より仕組み。わかる、やりやすい、成果が見える。この3つを整えると自然に意識は上がります。
- ・ごみの減量に対するメリットが明確になる仕組み。
- ・プラスチック容器は、使用しない。クッキングペーパーで代用する。
- ・リチウムや電池の廃棄方法を含め、廃棄可能な電器店や廃棄場所などの広報。
- ・家庭から出る「資源物」と「ごみ」の分け方・出し方を参考にして指導をしています。
- ・ゴミ種類別の分別の徹底、チラシの定期的配布。
- ・雑紙の宣伝をもっと行うべき。
- ・広報とは別に、各自治会での回覧板で回せる様なリーフレットがあると良いと思います。
- ・市の広報等に毎回ごみに関する情報を掲載する。
- ・リサイクル可能な物の周知。市で何かよい物があれば提供していただきたい。雑紙等については、まだ周知ができていない。
- ・減量意識が上がるよう、各家庭でどれだけ減量（何かに例えるとそれ何個分等具体的に）できれば、これだけ市の費用が浮くだとか、わかりやすく必要性を周知する啓発があると良い。
- ・社会全体で食品トレイを少なくする。
- ・一人ひとりのモラル
- ・リサイクルの仕組みの勉強
- ・自治会内での周知徹底。
- ・可燃ごみ回収日に布類が指定袋に入っていることが散見されたため、自治会回覧で資源物であることを周知し、資源ごみ回収日に出すよう徹底。
- ・啓発をもっと広める必要がある。

問 9. 約 9 か月間の推進員活動の中で良かったことや苦勞したこと等、感じたことを教えて下さい。（自由記述）

回答数	40
未回答数	16
回答率	71.4%

- ・ 会合のタイミングが平日しかなく、土曜などもあれば、参加しやすい。
- ・ 鳥や猫に乱されるのが少なくなってきた。
- ・ 研修で勉強になりました。
- ・ ゴミ、資源に対する知識や意識に左右される点があるので数多く、機会を設けて啓発する必要がある。また、地区内での住民のつながりも大切な要点となると感じているので町会活動の重要性を認識した。
- ・ 特にございません。
- ・ 苦勞はありませんでした。
- ・ 大和田新田ひまわり町会の集積場所が個人宅の前などで、管理衛生に気をつかい苦勞しました。
- ・ 清掃センターでの研修が分かりやすく良かった。
- ・ 推進員としての活動計画について、年度はじめにスケジュールを確定して欲しいと考えます。
- ・ すみませんほとんどやってない。
- ・ 何よりも先ず自分自身の意識が高まりました。
- ・ 実際にごみ集積所や中身などを常に監視することはできないので、実態を把握できない。
- ・ 全体会の中で他の自治会さんの問題点が聞けたこと。
- ・ 一部の方のゴミの出し方で回収してもらえず、きちんと出している方々が本当に迷惑しています。
- ・ ゴミの最終処分場見学に参加した事で、ゴミの減量をより意識するようになりました。
- ・ この期間会員の協力により、きれいなゴミステーションの運用ができましたが、2月に市指定の袋を使わずに時間外にゴミを出されてしまった。自治会としては、掲示物を作成することになりました。自治会内にある一般住宅と違う形態の生活者へのアプローチが難しいと感じました。
- ・ 勉強会がとても良かったです。
- ・ 特に無し
- ・ 地域の方の協力で、清掃活動が継続できて良かった。一部の方のルール違反への対応（個別注意が難しい）に苦勞した。外部からの不法投棄はゼロにするのはかなり難しいと感じました。
- ・ (良かったこと)市の取組みがわかったこと。
(苦勞したこと)小型充電式電池の収集について各自治会員家庭への案内。
- ・ ゴミ集積所回りの清掃が、木が多いので雨や風で葉や枝が散り、交代で片づけたと思います。
- ・ 役所の対応が甘い。連絡や通告の不徹底。他の地域から分別もなくゴミを持ち込まれ勝手に廃棄していく人がいる。

- ・ 今日迄ごみの出し方について会員の方には理解をしていただき感謝しております。
- ・ ①家からゴミを出せばスッキリするが、目の前の集積場所がある者として不法投棄や回収できなかったゴミがずっと置かれているとかなりのストレスを感じる。②自治会未加入外国人のゴミ捨て時、声かけしましたが、意味なかった。夜中（時間外）に捨てられている。
- ・ 4か月入院の為、活動不十分であった。
- ・ ゴミの焼却コストが大きいので、資源ゴミの回収をもっと増やして焼却ゴミの量を減らして、焼却コストを下げることに。
- ・ ごみについて、個人的に考える機会があつて良かったです。
- ・ ①ごみ分別の不徹底、指定ごみ袋の未使用のごみ問題について不動産屋にごみの出し方についての周知をお願いした。②不法投棄のごみ処理をクリーン推進課にお願いしたら、速やかに対応してもらえたので良かった。
- ・ 会議の時に写真やビデオで説明をしていただき、とてもわかりやすかったです。ゴミに関しての自分の意識が強くなり良かったと思っております。
- ・ ごみ出しルールを守らない人間はごみ集積所に出せば、誰かが処分してくれるとたかをくくっていると思う。防犯カメラを設置してからは、かなり減ったようには思うが、出るたびこれはどうしたものか考え込む。
- ・ 自身のごみの分別、減量への意識が高くなった。しかし、他の方へ広げる点では不十分だった。
- ・ 可燃ゴミの中で生ゴミ（残食材等）の比重が一番大きいと思います。従ってゴミ削減の観点に於ては、これの処理に工夫が必要だと思います。
- ・ 清掃センター見学は遠方で、行くのが大変です。（免許証返納した）
- ・ 特になし
- ・ 自分自身ごみの減量、リサイクルの意識が高まった。
- ・ なし
- ・ 雑がみが資原物であることへの周知徹底が不十分であった。可燃ごみを減少させることができると思う。
- ・ ①なかなか自治会会員にごみ減量化が浸透しないこと②自治会に加入していない方がゴミステーションの清掃を自治会会員任せにしていること
- ・ ごみ処理施設での画面による説明等、又大きなガラス面によりごみの処理等の実際が見学出来てとても為になりました。この見学のチャンスは、もっと若い世代にもどうかお進めしたら…と思いました。
- ・ サンコーポ自治会では管理事務所と良く話し合い、サンコーポ便り等を通して行っています。

問10. 令和7年10月から小型充電式電池の収集を開始したことで、担当の集積場所で何か問題は起こりましたか。

回答数	49
未回答数	7
回答率	87.5%

	回答数	割合
1 起きた	0	0.0%
2 起きなかった	49	100.0%
計	49	100.0%

問11. 問10で1を選択した方にお伺いします。どのような問題がおきましたか。（自由記述）

回答対象者	0
回答数	2
有効回答数	0
未回答数	0
回答率	0.0%

問12. 令和7年2月に本市で策定した「プラスチック類の分別収集及び再商品化に係る方針」を知っていますか。

回答数	20
未回答数	36
回答率	35.7%

	回答数	割合
1 知っており、内容もある程度把握している	4	20.0%
2 知っているが、内容は詳しく把握していない	11	55.0%
3 知らなかった	5	25.0%
計	20	100.0%

問13. 可燃ごみの収集を週3回から2回に変更し、プラスチック類の収集を週1回行うことはどう思いますか。

回答数	54
未回答数	2
回答率	96.4%

	回答数	割合
1 C O2や収集運搬コストの削減のため、可燃ごみの収集は週2回となっても良い	11	20.4%
2 可燃ごみの収集が週2回となるのは困るが、いずれ開始した方が良い	3	5.6%
3 プラスチック類の分別収集を行うのは良いが、可燃ごみの収集は週3回のままが良い	32	59.3%
4 現状のままで、プラスチック類の分別収集はしない方が良い	5	9.3%
5 その他	3	5.6%
計	54	100.0%

5 その他の記述

- ・かさばるプラスチック類の代替を考えたい。
- ・祝祭日も収集するなら良い。
- ・プラスチックも可燃だからといって、ほとんど可燃に出される気がします。

問14. 問13で、プラスチック類の分別収集を新たな有料指定袋により実施するとした場合、どう思いますか。

回答数	52
未回答数	4
回答率	92.9%

	回答数	割合
1 現状の可燃ごみ用指定袋と同等価格なら良い	27	51.9%
2 現状の可燃ごみ用指定袋より安い価格なら良い	11	21.2%
3 任意の袋等を使いたい	10	19.2%
4 その他	4	7.7%
計	52	100.0%

5 その他の記述

- ・現状で良い。
- ・プラの分別収集の詳細不明の為回答不能。
- ・発泡スチロールが入る様な、大容量のポリ袋やサイズ展開があると助かる。
- ・プラスチック類専用収集コンテナにて収集する。

問15. プラスチック類のうち、硬いプラスチック製品の収集対象品目として分別しやすい周知はどれですか。

回答数	52
未回答数	4
回答率	92.9%

	回答数	割合
1 プラスチック素材100%	27	51.9%
2 大部分がプラスチックであるもの	11	21.2%
3 収集対象品目を指定してほしい（定規、まな板、風呂おけ、CDケース等、最大160品目となります）	10	19.2%
4 その他	4	7.7%
計	52	100.0%

4 その他の記述（回答数4のうち3名記述なし）

- ・ プラの分別収集の詳細不明の為回答不能。

問16. 今後、アンケートの回答方法について、推進員の方の負担を減らすため、紙媒体ではなく、二次元コードなどを利用したちば電子申請サービスによるインターネット回答への移行を検討しています。ちば電子申請サービスに移行した場合、回答は可能ですか。

回答数	55
未回答数	1
回答率	98.2%

	回答数	割合
1 可能	19	34.5%
2 自分は可能であり、他の方が推進員になった場合もおおかた可能だと思う	8	14.5%
3 自分は可能であるが、他の方が推進員になった場合はできない可能性が高い	11	20.0%
4 返信用封筒による郵送回答が良い	14	25.5%
5 その他	3	5.5%
計	55	100.0%

5 その他の記述

- ・ 自分は可能であるが、他の方の事はわからない。
- ・ 高齢の方が増えている地区なので、できない方もいると思います。

(総評)

アンケートの回答率は約68%であり、そのうち、ちば電子申請サービスを利用して回答した人は、全体の約25%であった。回答率は前年の71%よりも減少した。初めて推進員に委嘱された人は回答者数のうちの約55%であり、前年の52%とほぼ同水準であった。

プラスチック類の分別収集を新たな有料指定袋により実施するとした場合、現状の可燃ごみ指定袋と同等価格なら良いと回答した人は全体の5割程度と多数であった。続いて多かったのが、現状の指定袋より安ければ有料指定袋でも良いと回答した人、その次に任意の袋等を使いたいと回答した人だった。プラスチック類の分別収集について、プラスチック製品の収集対象品目として「プラスチック素材100%」であると分別しやすいと回答した人は約52%に上り、続いて多かったのが、「大部分がプラスチックであるもの」と回答した人で、約21%だった。

令和7年10月から小型充電式電池の収集を開始したばかりということもあり、地域でその関係のトラブルの発生の有無を聞いたところ、問題が起きたと回答した人はいなかった。令和7年11月8日に実施した八千代どんと祭2025ごみに関するアンケートの回答結果では、小型充電式電池の収集開始を知らなかった方が多かったため、そもそも、令和8年3月末までの期間では知らない住民の方が多く、周知が不十分である可能性があるため、今後も啓発を行い、動向を見守る必要がある。

アンケートの回答方法について、ちば電子申請サービスによるインターネット回答が可能またはおおよそ可能と回答した方は約49%に上り、前年の47%とほぼ同水準であった。